

2015年度日本建築学会北海道支部技術賞 受賞者一覧

◆北海道支部技術賞

三菱電機株式会社

佐藤 務君

加藤 芽美君

三菱電機エンジニアリング株式会社

大島 光生君

山下 哲央君

メルコファシリティーズ株式会社

淵山 茂宏君

表彰技術名― 寒冷地における高断熱住宅に適合した汎用標準品ヒートポンプ
エアコン1台によるダクト式暖冷房換気技術

◆北海道支部技術賞

大成建設株式会社

豊原 範之君

山口 亮君

安田 孝君

新田 隆雄君

北海道大学

井上 義之君

羽山 広文君

表彰技術名― 外気冷房型データセンターの構築技術の開発と運用実績の検証
「さくらインターネット石狩データセンター」

(3)審査経緯・講評

日本建築学会北海道支部技術賞表彰規定 第7条第2項に基づいて、支部技術賞選考委員会を構成する委員の確認をした後、委員会を計2回開催した。

初回の技術賞選考部会では、応募のあった下記3件（応募順・技術名のみ記載）の内容について協議した。

- (a) 寒冷地における高断熱住宅に適合した汎用標準品ヒートポンプ
エアコン1台によるダクト式暖冷房換気技術
- (b) 外気冷房型データセンターの構築技術の開発と運用実績の検証

「さくらインターネット石狩データセンター」

(c) 地下鉄コンコース内における広場空間の形成

以上 3 件について、選考部会で技術内容を把握した。特に選考委員の追加は行わずに選考を進めることとした。その際、表彰技術候補の選考方法は、募集要領の選考基準を「地域性・独自性」、「有効性・新規性」、「継承性・継続性」の 3 つの観点から考慮して各委員の 3 段階評価による採決の後、協議によって決定することとした。

2 回目の選考委員会において、協議・採決の結果、上記 (a) および (b) の 2 件を表彰候補技術候補として選定した。選定理由は以下の通りである。

(a) 寒冷地における高断熱住宅に適合した汎用標準品ヒートポンプエアコン 1 台によるダクト式暖冷房換気技術は、「地域性・独自性」、「有効性・新規性」、「継承性・継続性」の 3 つの観点で優れた技術と評価された。北海道では高断熱・高气密住宅の開発・普及が強く推進され、最近の超高断熱住宅では熱源の種類を問わない段階にまで成熟したと言える。本技術は、エアコン一台によって暖冷房・換気を行なうダクト一体型空調システムを提案するもので、省エネルギー性、快適性に加えて、限られた住宅の省スペース化にも寄与する技術であると言える。

(b) 外気冷房型データセンターの構築技術の開発と運用実績の検証「さくらインターネット石狩データセンター」は、「地域性・独自性」、「有効性・新規性」、「継承性・継続性」3 つの観点で特に優れた技術と評価された。具体的には、高発熱なデータセンターの冷房負荷削減のために、北海道の冷涼な気候を活用した外気冷房システムを提案するもので、建築意匠と設備のインテグレートによる省エネルギー化手法、省スペース化手法とその運用実績が高く評価された。

選外の(c)地下鉄コンコース内における広場空間の形成 についても評価する意見があり、選考委員会で協議を重ねたが、上記 (a) および (b) に及ばなかった。

技術賞選考委員会より、上記 (a) および (b) を表彰技術候補として支部役員会に報告・審議した結果、2015 年度 日本建築学会北海道支部技術賞として表彰することが決まった。

(文責：斉藤 雅也)